

平成29年8月25日

香川大学大学院地域マネジメント研究科

## インバウンド礼賛にモノ申す！

平成16年4月に開設された香川大学大学院地域マネジメント研究科は、地域活性化に貢献する実践的人材を育成するビジネススクールです。この度、平成29年度入学第14期生主催によるシンポジウムを開催いたします。

「インバウンド礼賛にモノ申す！」インバウンドは経済効果をもたらす一方、地域資源を荒廃させてしまうのではないかと、という着眼点です。地域が持つ本来の魅力を認識し、サステナビリティに重きを置いた地域資源開発、地域活性化の事例研究を通じて、インバウンドへの新たな向き合い方を考えます。

本シンポジウムは、多彩なバックグラウンドをもつ第14期生が、地域がもつ資源や魅力、そしてその可能性について議論し、リサーチした結果をご紹介します。熱く「モノ申す！」一日としたいと思います。「インバウンド」「地域資源」「地域活性化」にご興味をお持ちの多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時：平成29年9月16日（土）13:00～16:00（12:30より受付開始）

場所：香川大学幸町北キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース  
（香川県高松市幸町1-1）

※駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関等をご利用ください。

### プログラム（予定）

- 12:30 開場・受付
- 13:00 開会・研究科長の挨拶
- 13:05 イントロダクション
- 13:10 学生発表
- 14:05 休憩
- 14:20 【基調講演】株式会社やまびこ 企画販売部長 平野 俊己 氏
- 15:10 パネルディスカッション  
平野 俊己 氏、米田 誠司 氏（愛媛大学法文学部 人文社会学科 准教授）  
（他一名を予定）
- 16:00 閉会・挨拶

参加：参加費は無料です。

※事前申し込み等は必要ありません。当日、会場に直接お越しください。

ホームページ：[http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/ss/2017\\_symposium\\_hp\\_0821\\_withNewsRelease.pdf](http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/ss/2017_symposium_hp_0821_withNewsRelease.pdf)

Facebook：<https://www.facebook.com/timane14th.symposium/>

※当シンポジウムのチラシを添付しています。併せてご覧いただけますようお願いいたします。



### > 問い合わせ先

香川大学大学院地域マネジメント研究科 西・松岡  
〒760-8523 香川県高松市幸町 2-1  
TEL:087-832-1955 FAX:087-832-1988  
E-mail:gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp

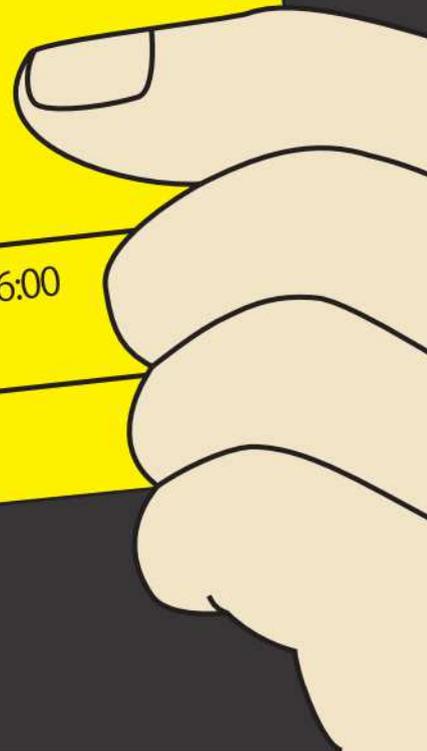
香川大学 MBA が考える、地域の未来を提言するシンポジウム

# インバウンド礼賛に モノ申す！

集客至上主義が行き過ぎると、地域経済は潤っても  
地域の魅力や環境が劣化してしまう。  
四国の未来はそれでいいのだろうか？

日時：2017年9月16日(土) 13:00(開場 12:30)～16:00  
場所：香川大学 幸町北キャンパス 研究交流棟 5階

主催：香川大学大学院 地域マネジメント研究科 (香川大学ビジネススクール)



# シンポジウム開催にあたって

香川大学大学院地域マネジメント研究科は、2004年に中四国初のビジネススクールとして開設されて以来、14年間にわたって地域活性化に貢献する教育研究に取り組んでおります。本シンポジウムは、学生が中心となって主体的にテーマの選定から運営まで行っていることが特徴です。毎回、趣向を凝らして準備を進めており、今回は「インバウンド礼賛にモノ申す！」といったテーマで開催いたします。

インバウンド需要の取り込みが積極的に行われている昨今、東京オリンピックが開催される2020年に向け、その勢いはさらに加速していくことが予想されます。しかし“猫も杓子もなんでもウェルカム”な体制で本当に良いのでしょうか？ また、観光地は無策でたたずんでいて、大丈夫なのでしょうか？ 東京は、多くの観光客を受け入れる体制、体力、インフラが整っているかもしれませんが、四国には、四国に合ったやり方があるのではないのでしょうか？

観光客増加（超過）の先に見える未来を想像すると、四国においても、インバウンドによる経済効果で一時的にうれしい悲鳴が上がるものの、新たな問題も抱えることになるのではないのでしょうか。

その一方で、地域らしさや独自資源の持つ魅力を当事者が深く認識し、その価値を守るために適正な「制限」をかけ、サスティナビリティに重きを置いた地域資源や観光地も存在しています。これらの事例を調査することで、地域資源開発における重要なコンセプトを見出すことを、本シンポジウムでは目指します。

皆様に、地域資源開発やインバウンドに向き合う際の新たな視点を提供できればと考えております。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

香川大学大学院地域マネジメント研究科 14期生一同

## タイムテーブル

- 12:30 開場・受付
- 13:00 開会・研究科長の挨拶
- 13:05 イントロダクション
- 13:10 学生発表
- 14:05 休憩
- 14:20 【基調講演】株式会社やまびこ  
企画販売部長 平野俊己氏
- 15:10 パネルディスカッション  
平野俊己氏 米田誠司氏
- 16:00 閉会・挨拶

## 登壇者プロフィール

平野俊己氏 株式会社やまびこ 企画販売部長

兵庫県出身。東京の出版社で編集に従事後、「霧の森」立ち上げに際し全国公募されていたオープニングスタッフ募集に応募。新宮に移住し「株式会社やまびこ」の社員として、霧の森大福のインターネット通販などを手掛け、地域振興に努めている。



### 霧の森

四国中央市新宮町にある道の駅。名産の新宮茶や霧の森大福を販売する菓子工房をはじめ、新宮茶を堪能できる茶フェや茶そばを味わえるレストランなどがそろっている。温泉やコテージも併設され、新宮のゆったりとした空気を感じられる安らぎの空間を提供している。

米田誠司氏 愛媛大学法文学部人文社会学科准教授

福岡県出身。東京都庁で勤務後、由布院観光総合事務所事務局長に着任。由布院温泉観光協会・旅館組合の組織活動のほか、滞在観光地づくり、ゆふいん流グリーンツーリズムの研究、地域間連携、まちづくり活動等に従事。現在は愛媛大学法文学部にて教鞭を執っている。

